



第143期 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日



株式会社 ロブテックス

トップメッセージ

モノづくりのプロに答え モノづくりの愉しさを育む

代表取締役社長 地引 俊彦



■経営成績

当連結会計年度の我が国経済は、雇用や所得環境の改善が見られた一方で、資材価格高騰等による物価の上昇、ウクライナや中東情勢の緊迫化による原油価格の高止まりや、米国による関税政策によって、先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロに答え、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向け、新規開発事業部、ハンドツール事業部、ファスニング事業部の3事業部において事業収支改善を徹底することで「業務の整流化」と「利益体質の強化」を図りました。

新規開発事業部では、新規商品の開発、新規調達先の開拓を加速、充実を図りました。

ハンドツール事業部では、開発から生産までの商品化プロセスを加速させ、安定的且つ効率的供給体制を構築し、特に

生産拠点であるグループ会社、鳥取ロブスターツール株式会社との連携を図ることにより収益力の強化を行いました。

ファスニング事業部では、需要が増加している接合作業の自動化装置など、ファスニング分野のさらなる伸長を図るため、技術開発、営業、アフターサービス部門が一体となり、お客様の要求に“きめ細やかに”そして、市場ニーズを的確に捉えるべく製販一体となって対応しました。また、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制としたことにより、省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件、並びにコンストラクションファスナーの案件が増加傾向にあり、着実に受注に結びつきました。

その結果、売上高は前年同期比 0.1%増の 5,711 百万円（前年同期 5,708 百万円）微増となりました。利益面におきましては、営業利益は同 11.5%減の 182 百万円（同 205 百万円）、経常利益は同 14.1%減の 191 百万円（同 222 百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は前年の繰延税金資産の一部取り崩し影響が無くなり、同 58.9%増の 122 百万円（同 77 百万円）となりました。

セグメント別概況

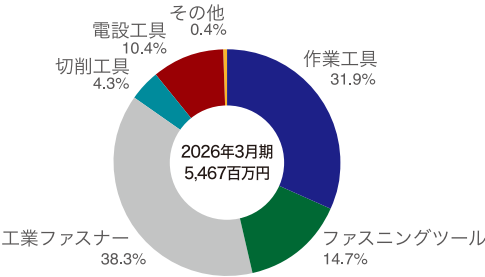
■ 営業成績

区分	139期 (2022年3月期)	140期 (2023年3月期)	141期 (2024年3月期)	142期 (2025年3月期)	143期 (2026年3月期)
売上高 百万円	6,099 (3,006)	5,950 (2,914)	5,925 (2,821)	5,708 (2,776)	5,711 (2,784)
経常利益 百万円	391 (181)	493 (255)	433 (156)	222 (139)	191 (74)
親会社株主に 帰属する 当期純利益 百万円	224 (102)	314 (154)	279 (93)	77 (80)	122 (33)
1株当たり 当期純利益 円	120.38 (55.06)	168.42 (82.96)	149.87 (49.86)	41.38 (43.14)	65.77 (17.79)

(注1) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。139期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(注2) ()は第2四半期の数値であります。

金属製品事業における品種別の売上高構成比



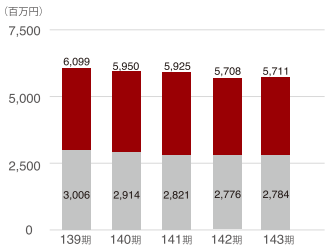
① 金属製品事業

ハンドツール事業では、国内売上においては、電設工具が好調でしたが、海外売上においては、特に韓国における市況の低迷が影響し、プライヤ類の販売が低調に推移しました。また、新シリーズである「J-CRAFT99」においては販売を強化し、国内海外ともに新規取扱店の拡大が進んでいます。

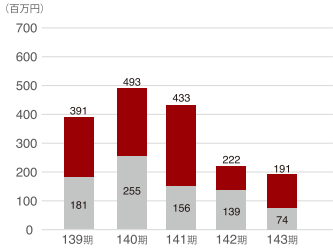
一方、ファスニング事業においては、2024年6月に連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う一部商品のグループ会社外への移管による売上減少の影響がありましたが、国内・海外ともに省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件、並びにコンストラクションファスナーの案件が増加傾向にあり、特に国内では着実に受注・売上に結びつきました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は、前年同期比0.1%増の5,467百万円（前年同期5,461百万円）と微増し

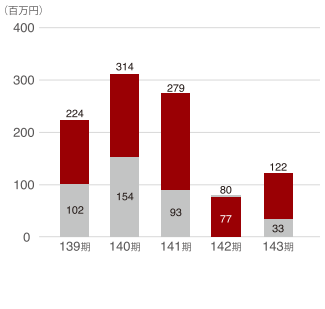
売上高



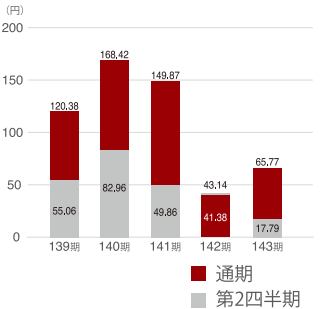
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



1株当たり当期純利益



ましたが、セグメント利益については、新規アイテムの生産・発売と在庫評価に関する費用発生に伴う売上原価率の上昇があり、同22.5%減の67百万円（同87百万円）となりました。

② レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、サービス向上や集客施策を実施してまいりました結果、来場者数は微増したものの、一人当たりの売上高が減少したことなどにより、前年同期比1.3%減の243百万円（前年同期247百万円）となりました。セグメント利益については、減収影響に加え、経費節減に努めたものの、練習用ボールの一部入れ替え等による運営維持費用等の増加があり、同3.4%減の114百万円（同118百万円）となりました。

今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、資材価格高騰等による物価の上昇、ウクライナや中東情勢の緊迫化による原油価格の高止まりや、米国による関税政策によって、世界経済への影響は、より一層、先行きが不透明な状況となっております。

このような見通しの中、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロに答え、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいります。

特に主力であるハンドツール事業においてはJ-CRAFT99シリーズを中心に新規販路開拓を進め、「エビ印工具」の更なるブランド力の向上を図り、ファスニング事業については、前年より案件が増加傾向にある、省人化を目的とした自動機や

システム物件関連商品やコンストラクションファスナーの販売により一層の強化を図ってまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で5,730百万円、連結営業利益で180百万円、連結経常利益で180百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で120百万円を見込んでおります。

モノづくりのプロに答え モノづくりの愉しさを育む



より良い商品をお届けしたい

● ワンサイドボルト

ワンサイドボルトの開発で無溶接の乾式接合を提案し建築業界のCO2削減と職人不足の解消に貢献しています

ロブテックス / ロブテックスファスニングシステム

◆高力ワンサイドボルトの産学共同研究開発

産学共同研究として大阪大学と新しい高力ワンサイドボルトを開発。
研究の成果を日本建築学会で論文発表し、建築構造設計者から注目されています。
片側から構造物を接合可能で、摩擦接合用高力ボルトと同等の基本性能です。

◆高強度ワンサイドボルトの新商品開発

ワンサイドボルト「STロック」よりも高強度な「ネオSTロック」を開発。
グループ会社のロブテックスファスニングシステムで発売を開始しました。
建築で最も使用されるM12のボルトよりも強度が高く緩み難いため、建築構造物の接合も可能です。



新型高力ワンサイドボルト

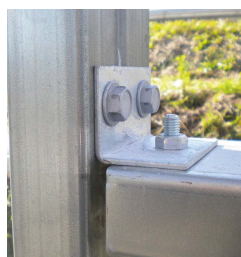


ネオSTロック

ロブテックスファスニングシステム

◆外壁下地材の無溶接化を推進

建築外壁下地材の「鋼製胴縁」を当社のワンサイドボルト（シュアツイスト、ネオSTロック）は無溶接で乾式接合。建築業界のCO2削減に努めています。乾式胴縁を推奨する「エコザック普及協議会」の賛助会員として活動しています。



シュアツイストを用いた胴縁



ネオSTロックを用いた胴縁

143期 新商品

● エアーリベッター



関係会社の取組み

鳥取ロブスターツール

令和6年度補正 DX型CO2削減対策実行支援事業(SHIFT事業)

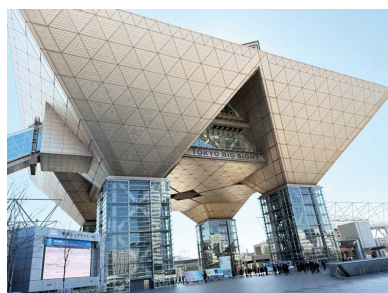
DXシステムを用いた脱炭素技術等の促進による工場・事業者の省CO2化加速を支援機関である中国電力株式会社とともに実施します。



「工場・事業所における脱炭素セミナー」 開催場所:東京ビッグサイト

環境省主催の「工場・製造現場における脱炭素セミナー」に参加し、支援パートナーの中国電力株式会社と「DXシステムを活用した省CO2活動」と題して事例の発表を行いました。

今後は、設備の運用改善や高効率機器への更新を進め、エネルギー利用の効率化や二酸化炭素(CO2)の削減を図ります。





SNS の活用

Instagram



フォロワー数 **2万人!**



フォロワー数がついに2万人を突破しました!
現在のロブテックスのブランディングとしましては、SNSの中でも特にInstagramに力を入れており、さらにフォロワー数を増加させたい!と考えております。

YouTube



YouTubeでは、当社商品の特長や使い方を見ていただくための投稿をしております。



143期は新商品のLEDワークライトをコメディタッチでPRした動画を公開いたしました。

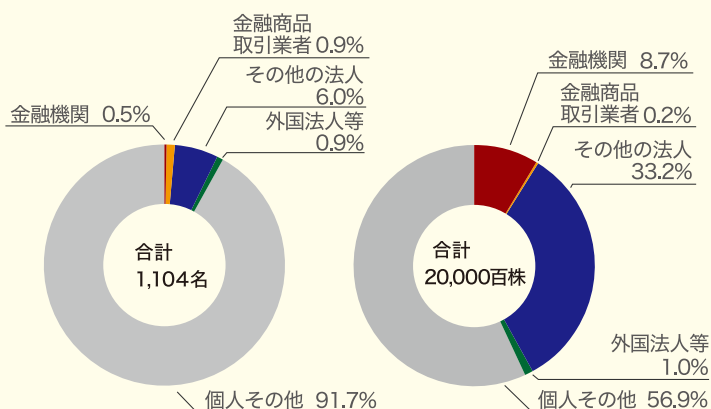
オフィシャルグッズによるブランド力の強化



オフィシャルグッズ続々登場しております☆

株式の状況(2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000百株
発行済株式総数 20,000百株
株主総数 1,104名
所有者別株主構成比



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
(受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く))
ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/>
(ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)



株式会社 ロブテックス
〒579-8053 東大阪市四條町12番8号